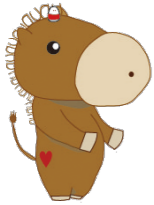


こんにちは!! 会津若松市ユニバーサルデザイン推進イメージキャラクターの「ゆにば」です。皆さんからは「ゆにばくん」と呼ばれています。よろしく願います。

さて、市では公民館やコミュニティセンター、スポーツ施設、小中学校、幼稚園、保育所、デイサービスセンター、庁舎、



ゆにばくん

こんにちは!! 新島八重マスコットキャラクターの「八重たん」です。よろしく願います。

今回、「会津若松市公共施設白書」が公表されたそうなので、その内容について「ゆにばくん」にいろいろと教えてもらいます。

えっと、まずは、どうして白書を作成したのかしら?



八重たん

会津若松市の公共施設「かわら版」

会津若松市公共施設白書「公共施設の現状について」より

公営住宅など、様々な公共施設を建設し、市民の皆様へのサービス向上に努めてきたんだ。

今後、公共施設の老朽化に伴い、大規模改修や建替えが必要になる時期が来るけど、人口が減少し、少子高齢化が進んでいるなかで、多額の経費を確保できるか心配になっていて、全国でも大きな課題になっているんだよ。

このため、市では、公共施設の適正な配置と効率的で効果的な管理運営が必要なので、今後の公共施設のあり方について、検討していくことにしたんだ。

今回、市の公共施設の現状をいろいろな視点から把握・分析し、市民の皆さんとともに、今後の公共施設のあり方を検討する基礎資料として「会津若松市公共施設白書」を作成したんだよ。

公営住宅など、様々な公共施設を建設し、市民の皆様へのサービス向上に努めてきたんだ。

今後、公共施設の老朽化に伴い、大規模改修や建替えが必要になる時期が来るけど、人口が減少し、少子高齢化が進んでいるなかで、多額の経費を確保できるか心配になっていて、全国でも大きな課題になっているんだよ。

このため、市では、公共施設の適正な配置と効率的で効果的な管理運営が必要なので、今後の公共施設のあり方について、検討していくことにしたんだ。

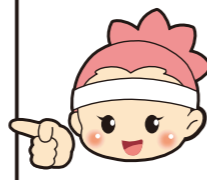
学校や公民館、公営住宅など全ての公共建築物(382施設)を対象にしているよ。



【生涯学習総合センター(會津稽古堂)】
(分類名「市民文化系施設」における一施設情報例)

建築年度	平成22(2010)年度建築
延床面積	9,365.00㎡
総年間コスト	約3億5,388万円(平成23年度)
年間利用者数	約55万6千人(平成23年度)

なるほど!! とここでこの白書はどんな公共施設を対象にしているの?



【施設分類毎の施設数*1】

公民館などの市民文化系施設	27施設
社会教育系施設	2施設
体育館などのスポーツ・レクリエーション施設	29施設
産業系施設	6施設
小中学校などの学校教育施設	49施設
幼稚園などの子育て支援施設	32施設
デイサービスセンターなどの保健・福祉施設	14施設
医療施設	1施設
庁舎などの行政系施設	39施設
消防屯所などの消防施設	107施設
公営住宅	27施設
公衆トイレなどの公共建築物がある公園	37施設
その他	12施設
(※1)	施設数合計 382施設

対象にしている公共施設について

総務省が推奨するソフトウェア*7で計算したら、今後の更新等にかかる費用は、事業費ベースで年平均49億8千万円かかると推計されたんだ。

これは、市が実際に公共施設の整備等で支出している10年間の平均年間投資的経費の約2.3倍の金額に相当するんだよ。

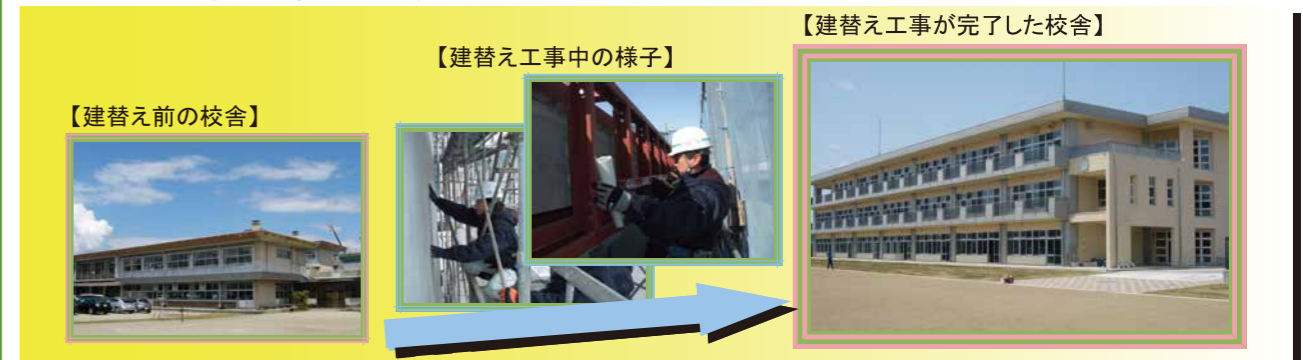
推計条件等は、白書(本編)で詳しく説明しているから、ぜひ読んでみて。



《城西小学校》～大規模改修の様子～



《北会津中学校》～建替えの様子～



そうだね。公共施設の全体の現状についてわかってもらえたね!!

市民の皆さんにも、もっとたくさん公共施設を利用していただきたいと思います。

会津若松市は今後、皆さんとともに、次世代へ引き継いでいくことができる公共施設のあり方について、検討していくこととして



★平成25年7月号市政だよりからは、各公共施設の現状について詳しく紹介していく予定です。

みんなが、安全で安心して利用できる公共施設は、とっても大事ね!!

こんなに公共施設があるんですもの、市民活動などで、もっともって利用していきたいわ。



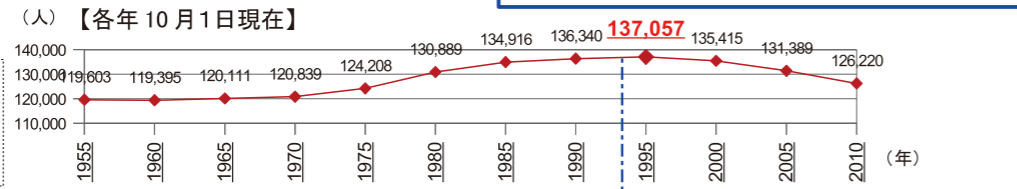
白書(本編)については、市ホームページ・企画調整課・市政情報コーナー・各支所(まちづくり推進課)・各市民センターでご覧いただけます。

【発行】会津若松市 企画政策部 企画調整課
電話 : 0242(39)1201
ファックス : 0242(39)1400
ホームページ: <http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

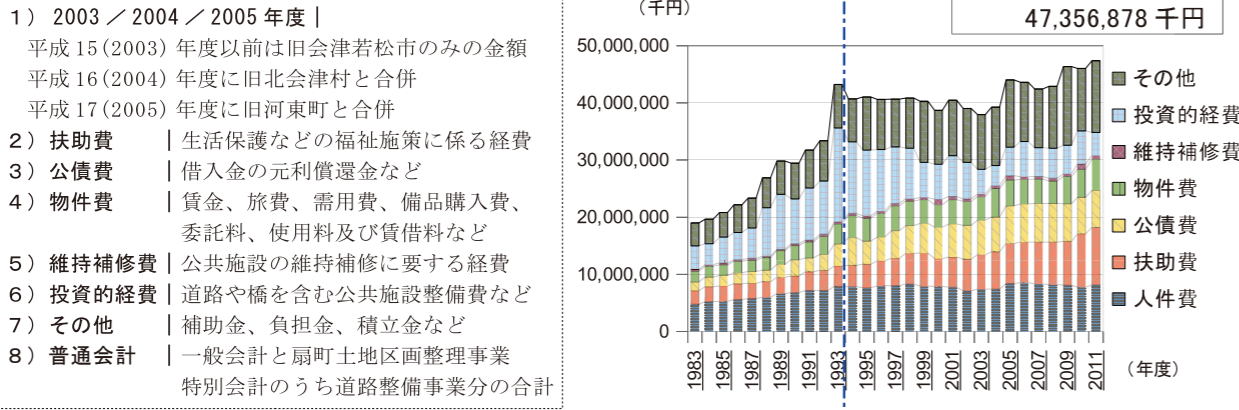
※1…財団法人自治総合センターが開催した「平成22年度地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会」において開発され、作業簡素化のために総務省により一部変更が加えられた更新費用試算ソフトウェア上での分類毎の施設数を表示しています。

※7…財団法人自治総合センターが開催した「平成22年度地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会」において開発され、作業簡素化のために総務省により一部変更が加えられた更新費用試算ソフトウェアです。

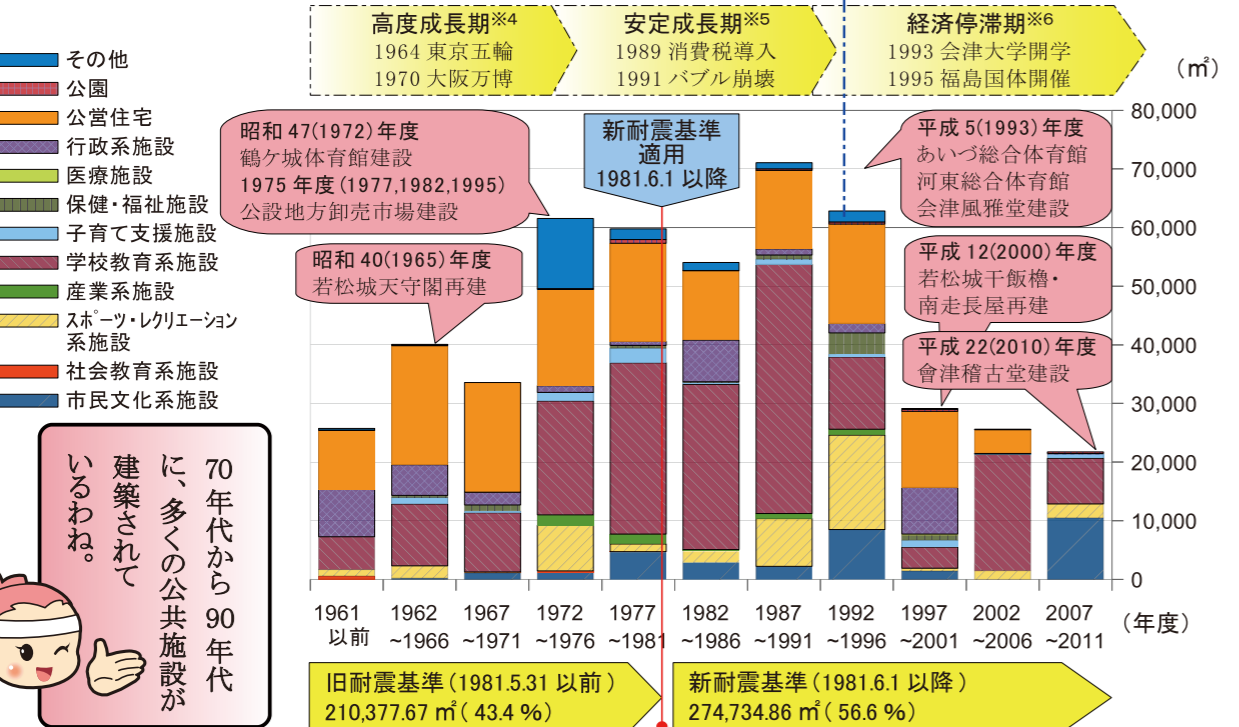
人口の推移



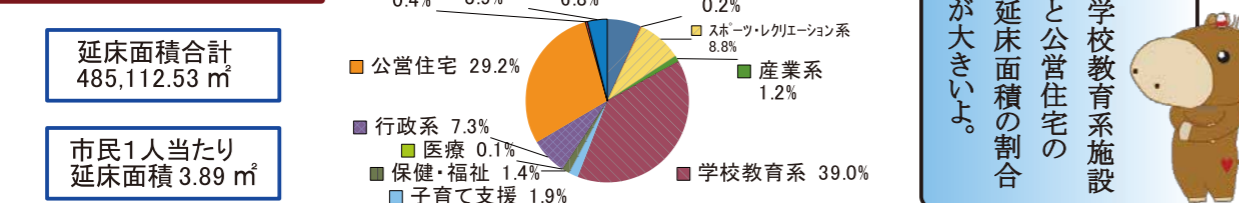
歳出の推移



公共施設の建築推移



延床面積 用途別割合



公共施設の建築推移等について

つまり、建物ね!!
では、この白書は、一体、どんなことがわかるの?

対象の公共施設を用途別に分類し、表やグラフを使用して、3つの視点でわかりやすく説明しているよ。

- 【ストック情報(☆)】・建築年次・経過年数・延床面積 など
☆ 主に物理的な情報を意味します。
- 【サービス情報】・延べ利用人数・施設稼働率・職員数 など
- 【費用(コスト)情報】・現金支出・現金収入・減価償却費 など

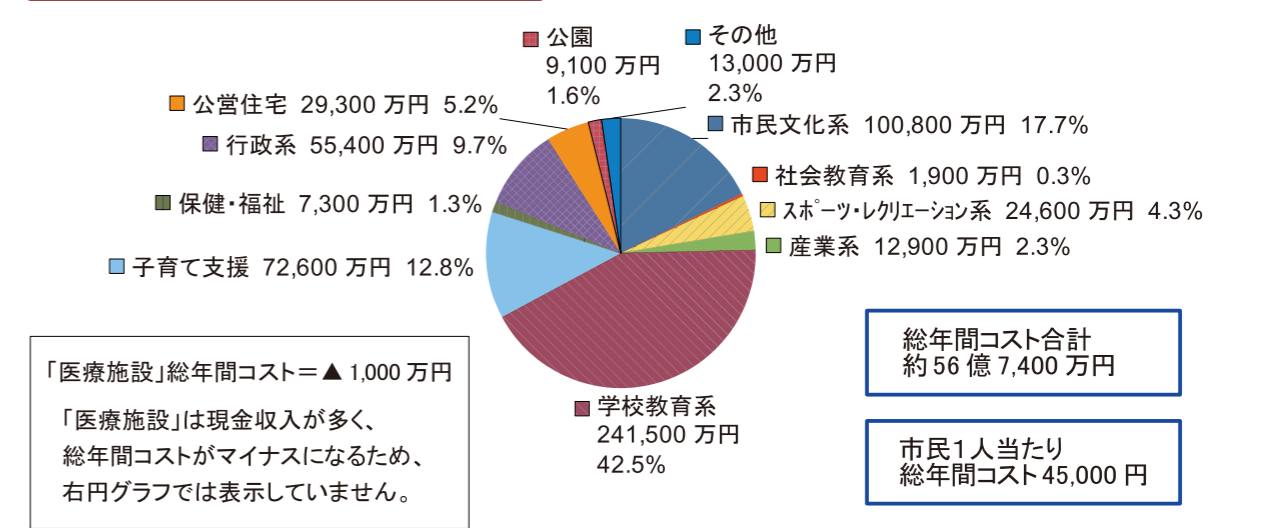
3ページの各グラフを見て！人口や歳出の推移とともに、公共施設の建築推移や延床面積の用途別割合等がわかるよ。

公共施設にかかる費用(コスト)について

結構古い建物もたくさんあるのね!! この公共施設の運営や維持管理にどれだけの費用をかけているの?

平成23年度1年間で減価償却費※2を含めた総年間コスト※3は、施設全体で約56億7千4百万円かかっているんだ。市民1人当たりになると約4万5千円かかっていることになるんだ。

公共施設総年間コストと用途別割合



上の円グラフを見ると学校教育系施設と市民文化系施設と子育て支援施設で約7割以上を占めているのね!!

じゃあ、となると公共施設はどのくらい利用されているの?

白書(本編)(当資料4ページ最下段で)案内しています。(のなかで、各用途別に利用人数や稼働率などをグラフで表示しているから、ストック情報やコスト情報とともに、ぜひ白書(本編)を見てね。

※4 高度成長期…1955年から1973年まで。 ※5 安定成長期…1973年から1991年まで。バブル期含む。
 ※6 経済停滞期…不況期(1991年～2002年)、景気拡張期(2002年～2008年)、リーマン・ショックから現在まで(2008年～)

※2 減価償却費…通常、市の会計では計上しない資産価値の減耗額を意味します。
 ※3 総年間コスト…現金支出ー現金収入+減価償却費